

# 10年たったたら、 とりカエル。

お宅の火災警報器の話です。

New

Old



お宅の火災警報器も、そろそろ10年。交換時期です。

## 10年を目安に、とりカエル！

わが家と家族を守る基本です。

プレゼントが当たる  
キャンペーン実施中！

第1期 2016年9月1日(木)～11月30日(水)  
第2期 2017年1月1日(日・祝)～3月31日(金)  
詳しくはこちら

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは

フリーダイヤル **0120-565-911**

受付時間：月曜日から金曜日までの9時～17時(12時～13時を除く)





# なぜ、とりかえるの？



とりかえろ ひと口メモ

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。火災警報器は、大切なわが家と家族を守る基本。10年を目安に交換しましょう。



# 10年が交換の目安!



## とりカエルひとメモ

住宅用火災警報器は、24 時間 365 日、火災の発生を見張っています。  
休みなく働いている火災警報器には、交換の時期があります。10年を目安に交換してください。

# お宅の住宅用火災警報器、 そろそろ交換時期では ありませんか？



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、  
火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。  
10年を目安に交換しましょう。

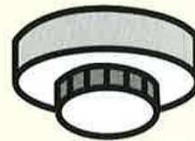
[設置時期を調べるには] 火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、  
または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

## 新しい火災警報器に交換したら！

本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。



これから10年間、  
また安心を見守るよ！



記入例  
設置年月 2016年9月

●取扱説明書は、大切に保管してください。

## 離れて暮らすご家族にも、呼びかけましょう！

みなさんのお宅だけでなく、  
離れて暮らす大好きな  
おじいちゃん、おばあちゃん、  
ご近所のお年寄りだけのご家庭にも  
ぜひ声をかけてください。



住宅火災で、毎年約1,000人の方が亡くなっています。そのうち、高齢者が約7割を占めています。  
住宅用火災警報器の交換や、作動確認などの際には、家族みんなで協力しましょう。



ご注意ください

- 火災警報器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。
- 交換やお手入れ、作動確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。
- 捨てる際は、本体と電池を別にして捨てましょう。お住まいの各自治体が定める条例に従って廃棄してください。

一般社団法人 日本火災報知機工業会

〒110-0016 東京都台東区台東 4-17-1 偕楽ビル(新台東)